

機能性

高機能性農作物の情報が検索可能なデータベース — 農研機構開発農作物に関する情報をわかりやすく提供 —

技術の特徴

- 農研機構で開発された高機能性農作物に関する信頼性の高い情報を集約し、利用しやすい形で実需者、研究者等へ提供することを目的として、データベースを構築しました。
- 品種、機能性成分含有量、栄養成分含有量、文献の検索が可能です。品種の特長等も収載しています。
- ヒストグラム等により品種内(図1)、品種間(図2)等での成分含有量分布を視覚的に利用者へ伝達します。
- 農研機構内の各研究所の協力により、2012年度末現在で9品目、9成分の情報を収載済みです。

研究の内容

～検索時の画面例～

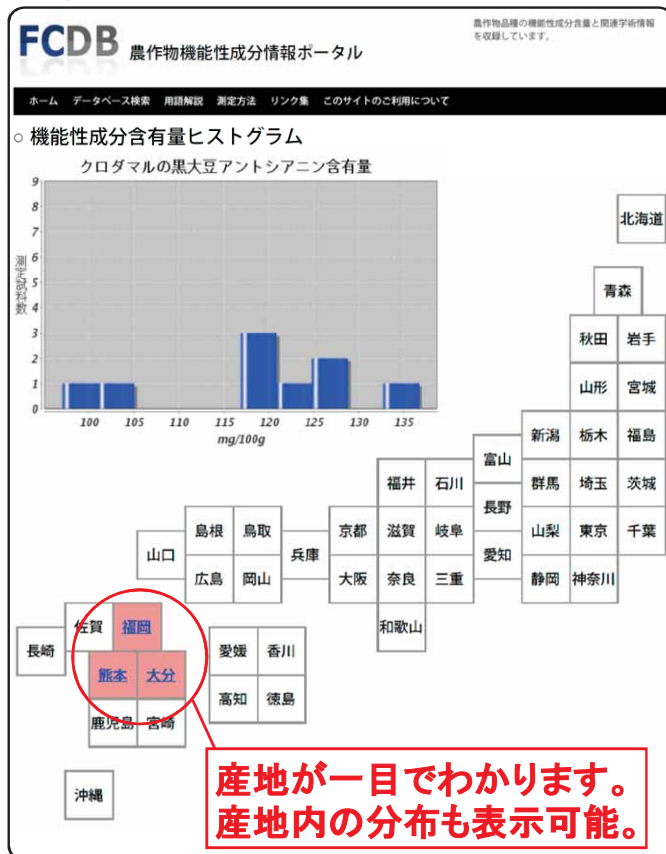


図1. 品目「大豆(黒大豆)」、品種「クロダマル」および機能性成分「黒大豆アントシアニン」で検索した画面

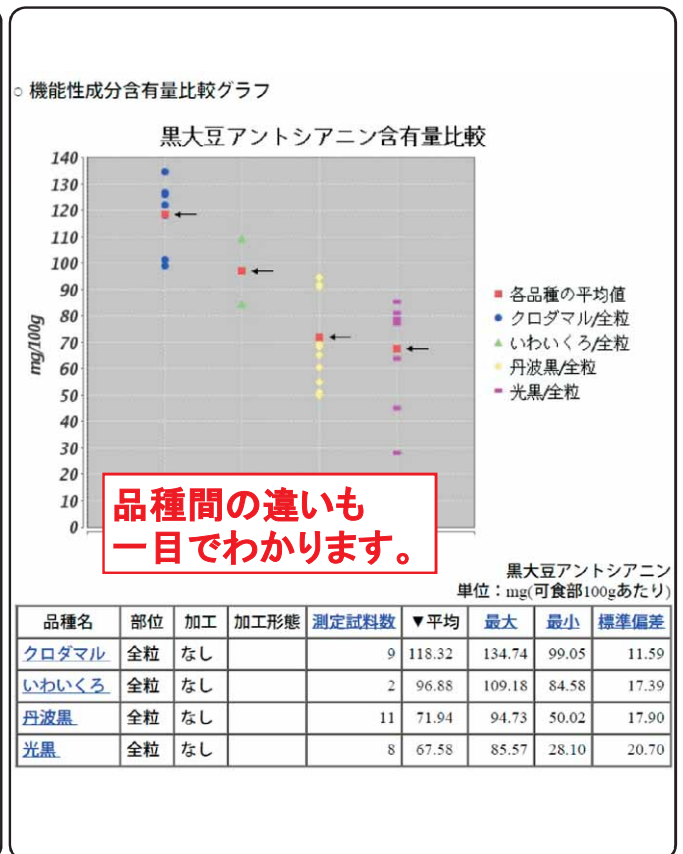


図2. 機能性成分「黒大豆アントシアニン」で検索し、品種間で比較した画面

今後の展開

- 2013年度中のWeb上での公開を目指しています。第3期中期目標期間(2011～2015年度)中に農作物10品目以上、機能性成分量等10種類以上の情報を公表します。
- 本データベースの拡充により、高機能性農作物に関する公平性・信頼性の高い情報が広まり、それら農作物を利用した6次産業化が促進されます。



農研機構
九州沖縄農業研究センター



代表研究者: 奥野成倫
所属: 作物開発・利用研究領域
機能性研究グループ

問い合わせ先: 096-242-7738 sokuno@affrc.go.jp